

Bar の楽しみ方塾





塾長 川道 寿

■ 塾長コメント ■

2年目の活動となります「Barの楽しみ方塾」塾長の川道です。Barの楽しみ方塾としての活動を振り返ると、あっという間の2年間でした。昨年度作成した「長崎市のバーを紹介するリーフレット」は、観光案内所へ設置され、さるくガイドの方にも利用していただけするなど、多くの反響をいただきました。



図 駅構内の観光案内所に設置された様子

今年度で塾活動は終了いたしますが、今後も引き続き、繁華街の活性化につながる活動を続けていきたいと考えています。

■ 塾の目的 ■

Barの楽しみ方塾を企画した理由は、繁華街を活性化したいという気持ちからです。コロナ禍ということもあり、Barの利用者が激減していましたので、19時頃なのに誰も繁華街を歩いていない瞬間があるなど、危機的な状況なのではないかと感じ、何か繁華街を盛り上げる活動がしたくてBarの楽しみ方塾を企画しました。



図 人通りが無い思案橋横丁の様子

今年作成した長崎市内のバーを紹介する冊子の冒頭にも記載したのですが、自宅なら200円で飲めるハイボールは居酒屋なら400円。Barで飲むと800円というような状態です。金銭的な理由で「宅飲み」が増えたという話も、よく耳にします。

なぜBarで飲むのか。Barの楽しみ方は何なのか。そのような事を多くの方に考えてほしいという気持ちから「Barの楽しみ方」にスポットを当てた塾活動を始めました。

私はBarの経営者ではなく、ただの「客」なので、Barなどの繁華街を楽しんでくれる「仲間」が欲しくて、この活動を行っています。

■ 塾の研究・活動内容 ■

Bar の楽しさは、お酒の美味しさを味わうこと、お酒に関する知識を得ること、お店の方やお客さんと会話をすることなど、様々です。

極論、他人に迷惑をかけず自分が楽しいと思えるのであれば、Bar を利用する理由は何でも構わないのですが、楽しみ方がわからない。ハードルが高い。という意見も多いので、どうすれば Bar を利用したいと思ってもらえるのか。どうすれば Bar の利用者は増えるのか。という点を、塾生同士で話し合い、まずは Bar でのマナーを理解してもらおうということで、実際に Bar での注文方法や基本的なマナーを教えてくださいました。

2年目は基本的なマナーなどに加え「自家製の梅酒を作っている人もいるが、どこからが密造酒になってしまうのか」という、お酒ならではのテーマも学びました。

漬け込むときの度数と、漬け込んで良いもの・違法になってしまうものが決まっています。



図 100 種類以上の漬け込み酒（果実酒）

■ 塾活動の成果 ■

塾の目的は、繁華街の活性化ですので、どの程度、繁華街に貢献できたのか。ですが、コロナも落ち着いて、人通りも以前に比べて増えましたので、自然と賑わいが戻っていると感じています。Bar の楽しみ方塾が直接的な成果をあげている点は多くないと思いますが、主に塾生や Bar 塾を知ってくれた方が、Bar 塾の活動が理由で Bar に足を運んでくれたことが成果だと思えます。



図 Bar 塾とのコラボ企画を提案していただいたスコットランド交流塾の皆様

Bar 塾の冊子を見たり、活動を知って「Bar に行った」人がどの程度いたのかはわかりません。反響は多々ありましたので、少しでも繁華街の活性化につながっていればと思います。

報告書（本書）を提出する日の朝には、新聞にも掲載されていると知りました。



図 長崎新聞に掲載された伝習所まつり

Bar の楽しみ方塾 活動記録

日 時	場 所	内 容
令和 5 年		
5 月 24 日 (水)	市立図書館	伝習所開所式
6 月 3 日 (土)	Bar KEN' S	Bar でのマナーについて
7 月 1 日 (土)	Bar mahana	Bar の楽しみ方、会話の内容について
9 月 2 日 (土)	農家 Bar NaYa	漬け込み酒について
10 月 21 日 (土)	市民会館	Bar の紹介冊子作成方針について
10 月 31 日 (火)	市役所	中間報告会
11 月 11 日 (土)	ランタナ	取材する店舗について
11 月 25 日 (土)	マレイグ	スコットランド交流塾とのコラボイベント
12 月 2 日 (土)	ミナト	成果物の掲載内容、デザインについて
12 月 9 日 (土)	ミナト	成果物の掲載内容、デザインについて
令和 6 年		
1 月 5 日 (金) ～ 1 月 31 日 (水)	各店舗	取材
2 月 3 日 (土)	ランタナ	成果物の作成・印刷
2 月 12 日 (月)	ランタナ	成果物の作成・印刷
2 月 17 日 (土)	ランタナ	成果物の作成・印刷
3 月 2 日 (土)	ランタナ	伝習所まつり展示物の印刷
3 月 10 日 (日)	ランタナ	伝習所まつり展示物の印刷
3 月 16 日 (土)	ベルナード観光通り	伝習所まつり

Bar の楽しみ方について

お酒は嗜好品なので、理論上は無くて生きていけるものです。お酒を飲まない方も増えていますし、Bar を利用したことが無い人も多いでしょう。金銭面や健康面から見ればデメリットが多いと感じる方が多いのも事実だと思います。

しかし、それ以上のメリットがあると私は考えています。



図 会話を楽しむ塾生たち（女性陣）

Bar の楽しみ方は、美味しいお酒を飲むことや、誰かとの会話を楽しむことが代表的です。Bar は大人にとっての「公園」のようなものと私は考えています。Bar に行けば、いつもの誰かに会える、観光客と話をするなど、交友関係を広げ、情報収集につなげることができます。

Bar は大人の社交場です。社交が不要だという方もいるかと思いますが、交友関係は仕事を円滑にし、プライベートを充実させ、モチベーションの維持や向上にもつながります。

私は、Bar での会話や、Bar での出会いを仕事やプライベートに活かせていると感じているので、Bar に通っていることを後悔したことはありませんし、この楽しさを知らない人に、Bar の楽しさを伝えたいとも思ってい

ます。コミュニケーション力が必要であることは避けられませんが、話下手な人でも Bar は楽しめます。なぜなら Bar は話をしたい人が集まる場所でもあるので、話を聞いてほしい人は多いです。もし、人の話を聞くのが苦痛ではないなら、是非 Bar へ行き、隣のおじさんの話を聞いてあげてほしいです。



図 話し込む塾生たち（男性陣）

Bar の楽しみ方塾としての活動 1

Bar の楽しみ方塾として活動をはじめ、多くの反響をいただき、ほとんどの意見が好意的な意見でした。好意的ではない意見としては「Bar としての定義」に認識のズレがある。というものであり、繁華街を盛り上げようという活動に対しては、好意的なものでした。



図 前年度作成したリーフレット

昨年度作成した長崎市内のBarを紹介するリーフレットは、長崎国際観光コンベンション協会（DMO）の協力もあり、長崎駅構内の観光案内所に800部ほど設置していたのですが、さるくガイドの方が利用してくれるなど好評でした。繁華街周辺のホテルにも100部ずつほど配布させていただきました。「リーフレットを見てお店に来てくれた観光客がいる。」とBarのマスターから連絡をいただいたときは、嬉しくなってすぐ会いに行きました。お1人旅をされている方で、Bar塾が作成したリーフレットをととても気に入ってくれました。

Barには観光客の方も多数いらっしゃいますが、楽しんでもらうためには、お店の良さはもちろんですが、たまたま居合わせた地元客も重要です。長崎人は外面がとても良いので、「どっから来たかね」と気さくに話しかけている場面をよく見かけます。塾長もその一人です。

昨年度、大阪から観光で来ているという方とBarで知り合ったのですが、先日「ランタンフェスティバルを見に長崎へ行くので、バーを紹介してほしい」とSNSでDMが届きました。これほど嬉しいことはありません。たまたまBarで居合わせた私に連絡をくれたこと。長崎へのリピーターになってくれたこと。Bar塾の活動をしていてよかったと思いました。もちろんとっておきの店を紹介して、長崎の夜を楽しんでいただきました。また秋頃に来てくれるそうです。自分たちの活動が長崎市へ貢献できていると感じられる部分なので、大事にしていきたいと思います。

他にも、名古屋から仕事で来ていた方とBarで意気投合し、長崎にいる3週間の間で5回ほど飲み食いしました。今度は、私が名

古屋へ行く約束をしています。Bar塾を初めてから、このようなことがよくあります。登場人物がおじさんだけでなければドラマになるのに…と思うばかりです。



図 名古屋から来ていた方と、とあるホテルにある「長崎人にだけ稲佐山に見える絵」の前で撮影した写真

Bar塾の活動は、当初は塾長の私为中心でしたが、塾生が積極的に活動してくれるようになり、Barを盛り上げる仲間が増えたように感じました。



図 最高齢の塾生が作ってくれたイラスト

Bar の楽しみ方塾としての活動 2

Bar 塾として活動したことで得られた反響は利用者側からだけではありません。私が盛り上げたいと思っていた、繁華街の方々からもたくさんの応援の声をいただきました。

お店の宣伝には時間も労力もお金もかかります。また、喫茶店やカフェのようにある程度の席数があるわけでもなく、たくさんお客さんと呼ばばいいわけではないので、Bar の宣伝は難しいと聞きます。SNS で紹介された Bar に二人組のお客がきて、SNS に投稿されていたカクテルを頼んで、写真を撮って帰った。それ以降来ていない。というのはよくある話です。Bar はカウンターが数席だけ。という店も珍しくありません。もし、その日しか来ないお客でカウンターが埋まっていれば、常連は「また来るよ」と別の店に行ってしまう。それが2回も続けば、来なくなってしまうかもしれません。Bar を盛り上げるためには1回だけ来てくれる客を増やすことが逆効果になることもあるのです。

Bar 塾の活動は、Bar を紹介していますが、熱意を持って紹介することと、ただお店を紹介するのではなく、楽しみ方も伝えることで「リピーター」になってもらうような紹介を心がけています。「数撃ちゃ当たる」ではなく、「知る人ぞ知る」という印象を与え、お店のファンを作るような情報発信を続けていきます。

今回の冊子は去年のリーフレットと違い写真付きで各店舗を紹介していますので、お店の雰囲気もわかり評判が良いです。店側から「ありがとう」と言ってもらえると、やりがいがあると感じます。Bar 塾としての活動は3月で終了となってしまいますが、令和6年度以降も何かの形でBar の紹介をする活動

を続けていきたいと思っています。



図 今年度作成した成果物



図 成果物について話し合う様子

Barの楽しみ方塾としての活動した感想

伝習所の塾事業に応募した時点では「伝習所」がどのような事業なのか理解していませんでした。「塾」という名前なので、何かを教える場だと考えていましたが、実際は「市民が集まって、何かの目的を達成する」という活動なので、参加している塾生の意見をまとめ、一緒に活動するなど、想定していない部分も多く戸惑いました。結果として、とても良い事業だと思いましたので、もっと多くの方に正しく事業内容を知っていただき、伝習所事業を活用して市民活動につなげていただきたいと思いました。

2年間の活動は、今思えばあっという間でしたが、今後も何か別の形で、繁華街の活性化に貢献していきたいと考えています。



図 伝習所まつりの展示物を印刷した様子

塾活動の効果

繁華街を盛り上げる。という目的で始めた活動ですが、その効果が目に見えるわけではないので、長崎市への貢献がどの程度あったのかはわかりませんが、少なくとも私の周囲には効果が出ています。

まず私（塾長）自身についてですが、もっと詳しくなりたい。もっと楽しさを伝えられるようになりたい。という気持ちが高まり、元々「ラム酒」が好きでしたので、「ラムコンシェルジュ（ラム酒の水先案内人）」という資格を2023年10月に取得しました。以前よりも、お酒の楽しさを伝えられるようになりました。あまりにもラム酒推しが過ぎて、街中で「あっ、ラムの人！」と指を刺されるようになったのはご愛敬です。浜の町周辺のバーで「ラムの人・ラムのおじさん」と言えば、たぶん私のことです。SNSのアカウント名を「ラムおじさん」に変更しようかと考えているくらいです。



図 ラムコンシェルジュの登録証

次に、Bar 塾に対する周囲の変化ですが、ありがたいことに、塾生以外にもバーを紹介してほしい。など、Bar に関連する連絡をいただくことが増えましたので、多少は長崎市に貢献できているのかな（Bar 塾をキッカケに Bar へ行く人がいるのかな）と感じています。Bar 塾で紹介されていた Bar へ行きました。と報告をいただけるのは信頼していただいている証拠だと思いますので、信頼を無くさないように気を付けて活動を続けたいと思います。

Bar 関係の方から、Bar 塾に協力のお願ひがあるなど、知名度も出てきたと感じています。中には、長崎に「ラム酒を流行らせたい」という塾長の同志のような方もいらっちゃって、何度か長崎市内や近隣でのイベントで一緒させていただきました。



図 長与の「川まつり」に塾長の同志が出店していると聞き、会いに行った様子

Bar 塾の知名度があがったのは、Bar 塾として SNS での情報発信を続けたことで、インフルエンサーの方にリツイート等をしていただけたことが理由の一つだと思います。



図 かもめ広場で行われた「デジタルシェ」に有名 YouTuber の方が出店していた様子

長崎県産のお酒もドンドン発売されていますので、これらについて発信していくことも長崎への貢献につながると考えています。



図 新発売された長崎県産の芋焼酎を Bar で飲む様子

伝習所まつりについて



図 伝習所まつりで市長に成果物を渡す様子

今年度もたくさんの方に声をかけていただきました。

- このバー行ったことあるよ。懐かしい。
- 今日、娘が東京から帰ってくるから、紹介されている店に行ってみます。
- 活動辞めちゃうの？もったいない
- 今年で辞めちゃうんですね
 - 去年も展示を見に来てくれた方でした。覚えていることをお伝えすると驚かれていましたが、話しかけてくれた方は印象的なので覚えています。
- 娘の旦那が「〇〇〇」というバーをしているんだけど。
 - 今回紹介できていませんが、行ったことがある有名店でした。
- バーって敷居が高いイメージあるので、こういう冊子があると助かります。
- アニメバーとか長崎にあるんですね。
- シガーバーって気になります。
- この紹介されているウイスキーは何？
 - 佐世保の梅ヶ枝酒造さんで作られているウイスキーでした。前年度 Bar 塾のメンバーで酒造見学に行った酒造です。
- スコッチが飲める店はどこ？
 - 詳しく紹介したら「そんなに好きな

ら、四国に行ったときにサイレンスってお店行ってみて。絶対気に入るから」とご紹介いただきました。

- 言ってくれたら手伝いに行ったのに（終了後）

Bar を紹介する冊子を作り、展示をしても、自己満足にしかならず、意味がほとんどないのではないかと Bar 塾をはじめた当初は考えていました。

しかし、実際はかなりの反響があって、リーフレット見たよ。冊子みたよ。展示みたよ。と、たくさんの反響をいただきました。「この隣に座っている人、Bar が好きすぎて、紹介する冊子まで作っちゃったんだよ。」と、Bar で紹介されるのは、既に鉄板ネタになっています。

伝習所まつりが終わった後、塾生から感謝の言葉もいただきました。「皆さんに出会えたことに感謝です。これからは自分に合ったバーを探して楽しんでいきます。」とメッセージをいただいたときは、活動してよかったと思いました。Bar 塾のような市民活動は、繁華街を活性化させたいと言っても、何か直接的に、すぐ成果が出るものではないですが、この塾をキッカケに、活動するために塾生が街へ出て、活動を通じて交流の輪が広がって、少しずつ、着実に、自分の知らないところで成果につながってくればと思います。



Bar の楽しみ方塾

塾長	川道 寿				
1	石丸 京子	21		41	
2	井上 由美子	22		42	
3	鮫島 満帆	23		43	
4	下平 洋二	24		44	
5	白浜 千恵子	25		45	
6	添川 信一	26		46	
7	田中 理恵子	27		47	
8	西首 喜美子	28		48	
9	村上 美由紀	29		49	
10	山崎 真紀	30		50	
11	山下 さほり	31		51	
12	渡邊 愛	32		52	
13	渡邊 大祐	33		53	
14	他 4名	34		54	
15		35		55	
16		36		56	
17		37		57	
18		38		58	
19		39		59	
20		40		事務局員	商工振興課 色摩 満広

